

高校生の活動に対する検査協力

1) 福島県立平商業高等学校「福島県応援委員会」放射能検査協力

福島県立平商業高等学校では、「福島県応援委員会」を立ち上げ、地域復興を目指した商品開発や、全国への福島県 PR 活動を応援するためのさまざまな取り組みを行っている。福島県応援委員会は流通ビジネス科が中心となって活動しており、生徒が企業に企画を持ち込んで商品化し、販売・流通を学ぶ研究授業の取り組みのひとつとして行われている。地元の食材を用いて特色ある商品を開発し、生徒自らネーミングやラベルデザインを行っている。地元の食材を利用するにあたり、食材の放射能検査を通じて当事業が協力したので紹介する。

福島県応援委員会が開発した商品のひとつに、かつおを使ったかりんとうの「かつりんとう」がある。かつりんとうは、生地にかつおの粉末を練りこんで作られており、おからや白ごまを一緒に入れ込むことで魚臭さをなくすなどの工夫がされている。この商品は東日本大震災前から作られていたが、震災後はいわきの港でかつおが水揚げされなくなったことから、宮城県産のかつおを使用して作っていた。しかし、平成 24 年 5 月に震災後初めていわき小名浜港でかつおが水揚げされたことから、このかつおを用いて作ることとなった。

かつりんとうを作るにあたって、原料となるかつおと、製品に加工された後のかつりんとうと、それぞれ当事業の一環として放射能検査を行った。検査には福島県応援委員会メンバーの生徒が自ら検査試料を持ち込み、検査のための準備を行った。検査の結果、加工前・加工後いずれも放射性セシウムは不検出であった。

安全が確認されたかつりんとうは地元の道の駅などで販売している。月に数回行われる販売実習では、生徒が店頭で立って、いわきの魚が安心して食べられることを直接来店者に伝えながら販売を行っている。

また、当事業では福島県応援委員会メンバーの動画メッセージを制作し、You Tube にアップロードして、かつりんとうのアピールに協力している。

<http://www.youtube.com/watch?v=FFRWr8dwlfc&feature=youtu.be>



かつりんとう放射能検査準備風景



かつりんとう

2) 福島県立双葉高等学校「理科部」放射能検査協力

福島県立双葉高等学校のある福島県双葉郡双葉町は、東日本大震災によって引き起こされた福島第一原子力発電所事故により、現在許可なく立ち入りができない警戒区域に指定されている。このため、平成 24 年度から双葉高校は、いわき明星大学内にサテライト校を設置して運営している。このことから、当事業と連携して部活動の一部を行うこととなった。

双葉高校理科部は、今年度のメインテーマを「ひまわりによる放射性物質の吸収」として活動を行っている。放射性物質を含む土壌と含まない土壌にそれぞれひまわりを植え、生育環境条件を変えて育て、収穫した。ひまわりの生育については、いわき明星大学農業愛好会も協力し、活動を行った。

収穫したひまわりは、生徒自ら花・茎・葉に分けて洗浄し、当事業で設置した装置を用いてそれぞれ放射能検査を行った。

理科部では今年度の成果を、(1)平成 24 年 10 月にいわき明星大学内にサテライト校を設置している福島県立双葉高校・双葉翔陽高校・富岡高校による 3 校合同ステージ発表会 (2)平成 24 年 11 月に第 31 回福島県高等学校総合文化祭自然科学専門部の第 25 回福島県高等学校生徒理科研究発表会において発表した。また、ひまわりの収穫及び放射能検査の様子は、NHK による取材を受け、NHK 総合の夕方のニュース番組「はまなかあいつ TODAY」において放送された。



栽培中のひまわり



ひまわりの放射能検査準備風景



NHK による取材風景